



# TANPOPO



堂ノ浦キャンパスで11月10日、花火が打ち上げされました。

この2年間、新型コロナウイルス感染防止のために

沢山の我慢をしてくれた生徒たちに感謝の気持ちを込めて贈られたものです。

6時15分、学内にいる全ての人のカウントダウンで花火が打ちあがりました。

夜空に上がった花火は、生徒たちの胸に刻まれて良い思い出のひとつになったようです。



**バスケットボール部  
第74回全国高等学校  
バスケットボール  
選手権大会出場!**

**(2面)** **代木君  
巨人から指名!!**

プロ野球ドラフト会議が10月11日に行われ、  
高校野球部の代木大和君(6年B組)が  
プロ球団巨人から6位指名を受けました。



## 空手部 冬季大会優勝



空手の全国選抜大会県予選を兼ねた高知県高校冬季大会が11月3日、高知市の武道館で行われ、男子団体優勝、個人組手は55キロ級高野翼彩君(4年特進)、61キロ級崎山力君(5年特進I)、76キロ級竹内大智君(5年特進I)が優勝しました。形は川島祐輝君(4年特進)が優勝しました。

## 高校男子ソフトテニス部 団体・個人優勝



高知県高等学校ソフトテニス冬季大会が11月20日・21日、土佐西南大規模公園テニスコートで行われ団体優勝、個人も3位まで独占しました。  
(男子団体) 優勝  
(男子個人)

優勝 爺本江馬君(4年特進)・遠藤功一君(4年特進)  
準優勝 石川伊吹君(4年D組)・竹内晴紀君(5年C組)  
第3位 小笠原健斗君(4年C組)・佐渡宝来君(4年特進)  
第3位 小田千颯君(5年C組)・福島涼(4年D組)

## 国際クラブ英語劇公演

第57回英語劇公演が11月20日、本校たんぽぽシアターで行われ、会場には寮生、通学生、教職員合わせて60人が鑑賞に訪れました。演目は『浦島太郎』。日本のおとぎ話を英語でユーモアたっぷりに熱演してくれました。会場からは笑い声や歓声が沸き起きました。



## 中学サッカー部 優勝

第28回高知県中学校サッカー選手権大会決勝戦が11月13日、春野陸上競技場で行われ、高知中学校に3-0で勝ち、2年連続の優勝を果しました。

また、岡本友希君(3年1組)・川田晴斗君(3年1組)・徳能伊織君(3年1組)・山下夏輝君(3年1組)の4名が大会優秀選手に選出されました。

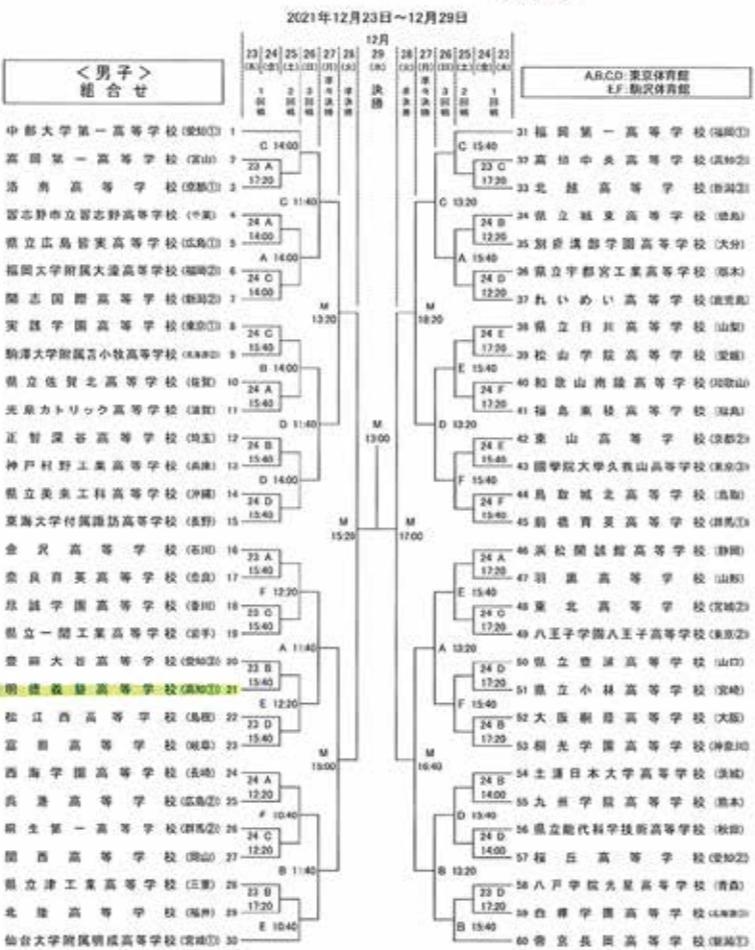
## バスケットボール部 ウインターファンタジー出場

バスケットボールの全国高校選手権県予選を兼ねた高知県秋季大会の決勝トーナメントが11月13日、春野体育館で行われました。6日に行われた試合と合わせて3戦全勝でウインターカップへの出場を決めました。

6年生にとっては最後の大会となります。1戦1戦ベストを尽くしたいと思います。応援よろしくお願いします。

ウインターカップ初戦は、12月23日15:40から愛知県の豊田大谷高校と対戦します。

### WINTER CUP 2021



## 代木君 巨人から 指名!!



代木大和君(6年B組)

「ドラフトの日、もう選ばれないと半ばあきらめかけた時、巨人から指名をいただきて喜びよりも驚きの方が大きかったです。取材のため部屋から出たら、野球部のみんなが拍手で迎えてくれました。あの時は本当に嬉しかったです。高校とはレベルが違うので、時間はかかるかもしれません、一つ一つコツコツと努力して、定着して出場できるピッチャーを目指していきたいと思っています。」

## 卓球 白山さん 世界ユース代表に



卓球の2021年世界ユース 日本代表最終選考合宿が10月25日、26日に大分県・杵築市で行われ、卓球部白山亜美さん(5年中國語)が優勝し、代表枠を勝ち取りました。

白山さんは「世界の人と闘う大事なチャンスをつかんだので、1試合でも多く試合をしたいと思っています。」と意気込みを語り、試合に臨みました。

12月1日~8日行われた世界ユースでは、団体3位。白山さんは、準々決勝、準決勝に出場し、大健闘しました。

## 大力 健闘 部



第17回四国高等学校力士

新人大会が10月17日、香川県の府中湖で行われました。結果は以下の通りです。

【カナディアンシングル(女子)】優勝 佐田ゆり空さん(4年英語)、【カヤックシングル】3位 寺田隼斗君(5年C組)、【カヤックシングル(新人)】優勝 山本凱斗君(4年C組)、2位 川口稜斗君(4年C組)、【カヤックフォア】3位 寺田隼斗君・ヨードブー君(5年D組)・川口稜斗君・山本凱斗君、【カナディアンシングル(新人)】優勝 渡邊裕征君(4年C組)、【カナディアンペア】3位 渡邊裕征君・下元悠太郎君(4年D組)

## 吹奏楽部 四国大会金賞受賞

第49回マーチングバンド・カラーガード全国大会  
四国予選が11月6日、徳島県の「鳴門市・大塚スポーツパーク」アミノバリューホールで行われ、3年ぶりに金賞を受賞しました。



## MEITOKU GIJUKU トピックス めいとく

Part1



## 中学野球 大活躍

軟式野球の全日本少年春季大会が9月19日~22日に静岡県で行われ、中学野球部が3位(4年ぶり)の成績を収めました。また、11月3日高知球場で行われた同大会の県予選は、高知中学に5-0で勝ち、3年連続6度目の優勝を果たして全国大会出場を決めました。



## 中学男子 ソフトテニス部 優勝

高知県中学校ソフトテニス冬季大会が11月6日、7日に土佐西南大規模公園テニスコートで行われ、男子団体優勝、個人でも優秀な成績を収めました。

【男子団体】優勝、【男子個人】優勝 福見優心君(1年2組)・加藤歓基君(2年2組)、準優勝 三田勇人君(2年2組)・木本琉偉君(2年2組)、3位 池畠優良君(2年2組)・高橋稜君(2年2組)

# オンライン授業



5年中國語コースが9月24日、中國の姉妹校・大連桜華中学と2回目のオンライン交流を行いました。今回は、明徳のクラブ活動についての紹介やお互いへの質問を準備して、桜華中学の生徒は日本語で、明徳の生徒は中国語で話しました。



オーストラリアの姉妹校・イマニエルアングリカンカレッジと5年英語コース・4年英語コースの生徒たちが11月16日、オンライン交流会を行いました。

5年英語コースは、今回で2回目の交流でオーストラリアのクリスマスと日本のお正月について英語と日本語を交えながら説明をし、質疑応答などを行いました。続いて4年英語コースは、他者紹介とクイズをした後、それぞれの学校を歩きながら案内しました。



姉妹校の台湾樹人高校と4年特進コースの生徒が11月29日、オンライン交流を行いました。生徒たちは初めての交流に緊張した面持ちでしたが、お互いの学校やクラブ紹介をしていくうちにリラックスした表情も見せていました。今後もこの交流は行う予定です。



天理大学との高大連携の一環として、外國語のオンラインレッスンが9月29日にスタートしました。参加した生徒は、5年英語コース、ESC(イングリッシュスピーキングクラブ)の4年生、4年特進の希望者18名です。

生徒たちは「全て英語なので緊張感をもって取り組めた」と話していました。



11月8日、初めてのカナダ大使館によるオンライン出前授業に4年英語コースと特進コース38人の生徒が参加しました。

当日はスティーブン・ラピントー等書記官より直々に、カナダについての全般的なお話をはじめ、お金の使い方や生活上の注意点など細かく「カナダ留学」についてご教授いただきました。生徒たちが積極的に参加しやすいようにクイズ形式も導入してくださり、たくさんの生徒が英語で質問していました。



総合コースの4年生を対象としたオンライン授業が11月22日、29日に行われました。

高校1年生から自分の将来や進路について考える機会を設けようと、4年団の先生方が企画しました。

本田テクニカルカレッジ関西の住吉様を講師としてお招きし、「Honda社員が語る 進路探究について」と題して、自動車業界や企業のスポーツについて、そして進路の選択についてのお話をいただきました。

生徒たちは、ホンダ創業者本田宗一郎氏の「チャレンジして失敗を恐れることよりも、なにもしないことを恐れろ」や「成功の反対は失敗ではなく、何もしないこと」などの言葉が印象に残ったようです。「これからの将来のことちゃんと考えていきたい」と話していました。



## 遠足・中3修学旅行

# トピックス めいとく

中学3年生が11月24日から2泊3日で、香川県に出かけました。

金刀比羅宮や四国水族館、小豆島などを訪問。最終日はレオマワールドで過ごし、楽しい思い出ができました。

秋季遠足が11月26日、高校全学年と中学1・2年対象に催されました。

中学1・2年生はのいち動物公園、総合コース4年生はカツオのたたき体験、竜キャンパスの4年生は龍河洞とのいち動物公園、総合コース5年生はみかん狩りと桂浜、竜キャンパスの5年生は足摺海洋館とさとうみ水族館、日本語コースは高知城と海洋堂スペースファクトリー、6年生は全員でレオマワールドに行き、楽しいひとときを過ごしました。



## クラスマッチ

今年も体育祭の代替えイベントとして10月8日、クラスマッチが行われました。

中学生はグラウンドでキックベース、4年生は体育館でバレーボールとバスケットボール、5年生はサッカー道場でサッカー、6年生は野球道場でソフトボール、6年生の留学生はサブグラウンドでキックベースをクラス対抗で行いました。

生徒たちは、このスポーツの祭典を存分に楽しみ、学内には歓声が響き渡っていました。

## 校内清掃 ボランティア

9月17日の台風14号による大雨で食堂周辺や正門に濁流が流れ込み、一部では床上浸水になりました。

一夜明けた18日、残った土砂を撤去するため、たくさんのクラブの生徒たちが作業してくれました。おかげで校内が綺麗になり、次の雨への十分な備えができました。



## 高知県高等学校総合文化祭

高知県高等学校総合文化祭が11月8日から14日まで行われました。各部門で優秀な成績を収め、来年夏に行われる東京大会への出場切符を手に入れました。

2022東京総文参加決定

【和太鼓部】・【NIPPONクラブ】・【美術部 文心（5年特進I）】





第35回

# わたしのイチオシ!



## River Boy



(著:Tim Bowler)

### 6年特進I／チ・ジョンアンさん(韓国出身)

この本は、死を控えた祖父と水泳が好きな孫娘ジェス、そして神秘的な少年リバーボーイをめぐる物語です。人生の終わりに立っているおじいさんを見て涙を流しているジェスにリバーボーイは、「川は海に行く途中、たくさんのこと経験する。石に当たったり強い日差しを浴びて途中で少し渴いたりもする。しかし、自ら止めることはない。そして、海にたどり着けば、また新しい姿に生まれ変わる準備をする。彼らには終わりが始まりだ。」とジェスを慰めます。

作者は、この本を通じて、読者に川の一生と人間の一生の類似点を伝えたいのだと思います。この本は、登場人物が5人しかおらず、背景もほとんど変わっていないので単調な印象を与えますが、豊かな隠喩表現が本を美しくしています。久しぶりに没頭して一気に読んだ本です。皆さんもぜひ読んでみてください。

※日本語訳では『川の少年(ハリネズミの本箱)』早川書房発行で出版されています。ティム・ボウラー著、入江真佐子訳です。



## 六人の嘘つきな大学生

(著:浅倉秋成/KADOKAWA)

### 教員／楠瀬 康仁先生(高知県出身)

大学生の就職活動を舞台にしたミステリーです。犯人を推理しながら読んでみよう!

就職試験の最終課題は、「選考に残った六人が話し合いによって自分たちで内定者を決定する」というもの。内定を懸けた話し合いが進む中、その室内で複数の封筒が見つかり…。正直、こんな試験があつら嫌だなと思いますが、一方で就職活動の意義について考えるきっかけにもなる内容だとも思いました。みなさんもきっと、自身のこととして考える時期が来ると思いますよ。

作者の浅倉さんは「伏線の狙撃手」の異名を持つそうで、何気なく読み飛ばしていた箇所が、ラストに近づくにつれて「あっ、そうか!」ってなります。気持ちいいです。



## そして、バトンは渡された

(著:瀬尾まいこ/文藝春秋)

### 3年1組／水野 瑞希さん(愛知県出身)

「私には父親が三人、母親が二人いる。家族の形態は、17年間で7回も変わった。でも、全然不幸ではなかった」

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。

だが、彼女はいつも愛されていた。

私はこの本を読んで、血が繋がっていても、人の心で生き方が変わるということを知りました。また、最後に隠された「ある秘密」を知った時に、愛の深さを感じました。

身近な人が、愛おしくなる感動作です。ぜひ読んでみて下さい。



## あの頃、きみと陽だまりで

(著:夏雪なつめ/スターツ出版株式会社)

### 6年中国語／伊藤 歩美さん(千葉県出身)

「ゆっくりいい。立ち止まってもいい。

顔を上げれば希望があること、

君が、教えてくれた。

それは、一週間のあたたかな日々。

陽だまりの中、君という花が咲く。」(本書冒頭より抜粋)

いじめが原因で不登校になったなぎさは、ある日車にひかれそうになつた猫を助ける。猫を中心として飼い主の新太と出会う。新太と一緒に生活する中で、なぎさは、喜怒哀楽の多くの感情と愛情の大切さを知った。

私はこの本を読んで、周りにいる人の大切さや誰かの力になりたいという強い気持ちが自分自身を成長させ、日々の生活に生きがいを感じることができたあと、あらためて思いました。

もうすぐ卒業してゆく私から、明徳生のみなさんに一番紹介したい本です。



(著:瀬尾まいこ)

### そして、バトンは渡された

(著:瀬尾まいこ/文藝春秋)

### 3年1組／水野 瑞希さん(愛知県出身)

「私には父親が三人、母親が二人いる。家族の形態は、17年間で7回も変わった。でも、全然不幸ではなかった」

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。

だが、彼女はいつも愛されていた。

私はこの本を読んで、血が繋がっていても、人の心で生き方が変わるということを知りました。また、最後に隠された「ある秘密」を知った時に、愛の深さを感じました。

身近な人が、愛おしくなる感動作です。ぜひ読んでみて下さい。

(著:瀬尾まいこ)

### 6年特進I／チ・ジョンアンさん(韓国出身)

この本は、死を控えた祖父と水泳が好きな孫娘ジェス、そして神秘的な少年リバーボーイをめぐる物語です。人生の終わりに立っているおじいさんを見て涙を流しているジェスにリバーボーイは、「川は海に行く途中、たくさんのこと経験する。石に当たったり強い日差しを浴びて途中で少し渴いたりもする。しかし、自ら止めることはない。そして、海にたどり着けば、また新しい姿に生まれ変わる準備をする。彼らには終わりが始まりだ。」とジェスを慰めます。

作者は、この本を通じて、読者に川の一生と人間の一生の類似点を伝えたいのだと思います。この本は、登場人物が5人しかおらず、背景もほとんど変わっていないので単調な印象を与えますが、豊かな隠喩表現が本を美しくしています。久しぶりに没頭して一気に読んだ本です。皆さんもぜひ読んでみてください。

※日本語訳では『川の少年(ハリネズミの本箱)』早川書房発行で出版されています。ティム・ボウラー著、入江真佐子訳です。



## あやかしお宿に嫁入りします。

(著:友麻碧/KADOKAWA)

### 1年1組／立川 紗菜さん(広島県出身)

私がお薦めしたい本は「あやかしお宿に嫁入りします」です。

主人公の葵は、あやかしという妖怪が見え、そして隠世というあやかしが住む世界に嫁入りを迫られます。嫁入りをさせられる理由は、葵の祖父が鬼に借金をしてしまい、借金を返すかわりに葵を鬼に嫁入りさせる約束をしました。葵は、嫁入りするかわりに働いて借金を返す宣言をしますが…あやかしお宿で前向きに頑張る葵の次が気になり、読みだしたら止まりません。10巻まであるので、ぜひ読んで下さい。



(著:友麻碧)

### あやかしお宿に嫁入りします。

(著:友麻碧/KADOKAWA)

### 1年1組／立川 紗菜さん(広島県出身)

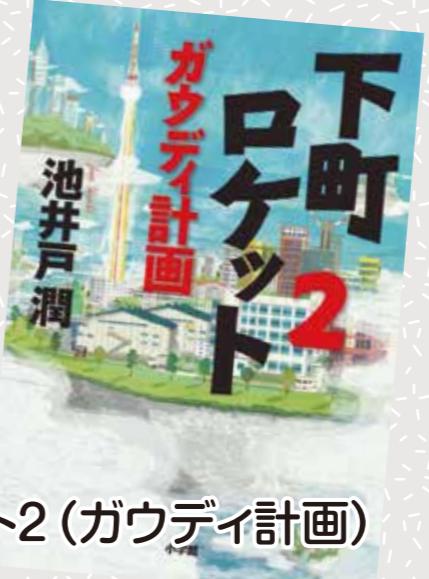
私がお薦めしたい本は「あやかしお宿に嫁入りします」です。

主人公の葵は、あやかしという妖怪が見え、そして隠世というあやかしが住む世界に嫁入りを迫られます。嫁入りをさせられる理由は、葵の祖父が鬼に借金をしてしまい、借金を返すかわりに葵を鬼に嫁入りさせる約束をしました。

葵は、嫁入りするかわりに働いて借金を返す宣言をしますが…あやかしお宿で

前向きに頑張る葵の次が気になり、読みだしたら止まりません。10巻まである

ので、ぜひ読んで下さい。



## 下町ロケット2 (ガウディ計画)

(著:池井戸潤/小学館)

### 6年特進I／寄木 隼平くん(高知県出身)

元宇宙科学開発機構研究員だった佃航平は、ロケット打ち上げ失敗の責任を取って辞職し、父の残した佃製作所で経営者となる。佃製作所は、下町の小さな工場だが、高い技術力で自社の開発したバルブシステムを使用し、日本を代表するような大企業とのロケット共同開発に取り組むことになった。だが、ほどなくして佃は共同開発の中止を告げられ、それに追い打ちをかけるように様々な不運に見舞われる。しかし、そんな苦しい状況の中でも佃は新しい夢を生み出していく。

どんなに品質が良くても中小企業は大企業にかなわない。しかし、主人公は理不尽な現実を突きつけられても自分と仲間に信じて進んでいく。私だったらこんなに前向きで強い気持ちが持てるだろうか。みなさんはどうですか。ここまで自分を信じて行動し続けることは難しいが、本当に強い精神力があればどんな困難でも乗り越えて必ず成功を手に入れることができる。

私は、この本から少しでも目の前の目標に向かって頑張っていこうという希望をもらつた。内容が濃く飽きることなく読める作品です。みなさんも是非読んでみてください。



## 読書嫌いのための図書室案内

(著:青谷真未/早川書房)

### 6年特進I／山田 峰桜さん(兵庫県出身)

この本は、読書嫌いな男子高校生と本好きの女子高生が図書新聞の再刊のため、紙面に載せる読書感想文の執筆を同級生、先輩、先生の三人に依頼することから始まります。執筆と引き換えにそれぞれの依頼者から不可解な条件を提示され、その理由を探るうちに三人の秘めた想いや昔学校で起きた自殺事件に結びついていきます。

また、この物語では多くの文学作品が登場します。森鷗外の『舞姫』やヘルマン・ヘッセの『少年の日の思い出』など、ストーリーが進んでいく上で、この文学作品たちが鍵になります。

そして、タイトルにあるように、読書嫌いの主人公が本を読む理由を探していきます。読書は、あり得る未来をシミュレートし、バットエンドを迎えた物語もそうならないように避けることができ、他者の気持ちを考えるきっかけにもなると主人公は答えを見つけています。

私は、この本を読んで、物語の解釈は読み手の数だけあり、深読みすることで作品のおもしろさは何倍にも増すのだと知りました。

読書好きにはもちろん、読書が苦手だという方にも読んでほしいです。そして将来、演出家になつたら私の手で映画化したいと思った作品です。



# ……コロナ対策「学校対応会議」の軌跡5……

6/30

- 夏休みクラブ帰宿時の対応について、弁当対応、抗原検査等、厳正な帰宿確認対応実施
- 7/11よりコロナワクチン接種開始
- 副反応に対して、各クラブ監督が48時間は様子を記録する
- 接種後の異常な症状に備えて、翌日の病院行きは手配するが、発熱等、既知の症状に対しては落ち着いて対処する。生徒にも、発熱の症状が出ることは通常の反応であることを説明し、パニックを防ぐよう指示

7/14

- 7/11 ワクチン接種第1グループ1回目無事終了⇒大きな副反応なし
- 7/18 第2グループ第1回目ワクチン接種予定
- 公式戦以外の遠征・外出のガイドラインを終業式以降のものについて発出
- 帰宿時の抗原検査についての原案は、3泊以上の外出、緊急事態宣言地域・まん防地域からの帰宿時を念頭にガイドラインを策定
- 在校生に対して、夏休みの買物バスは13回実施を決定

7/28

- 県の感染状況ステージは【警戒】へ引き下げ7/21～
- 7/18 ワクチン接種第2グループ1回目無事終了⇒大きな副反応なし。8/1、2の2回目接種は副反応に注意して対応
- 接種が終わって一安心だが、これまでの感染対策は継続（手指消毒、マスク着用）
- 県の警戒ステージが引き下げられたが、感染対策をしつつ、時短・人数縮小等の工夫をしたうえで午前または午後の買い物は許可する（高知市内も許可）。但し、外での会食は禁止を継続。
- 4連休の人流の多さが、今後2週間後に県内にも影響があることを念頭に入れ、対策の徹底を指示
- 県外での大会前入り合宿は許可しない

8/18

- 帰宿前電話確認
  - \*身内の濃厚接触者の有無 \*身内の体調不良者確認
  - \*本人の体調確認（過去2週間） \*抗原検査結果
- 無理には帰宿させない
- 受け入れ時間を厳守する重要性を各生徒に熟知してもらうよう指示（市中感染が増えているので、直帰で帰宿のことを理解してもらう）
- 帰宿5日前は外出自粛。また、検温と体調確認票の記入を忘れないように呼び掛けるよう指示
- 帰宿後は「学習部」「クラブ活動」は参加可能だが、「寝食は5日間別」。部屋の配置を検討した上、マスク着用の徹底と他グループとの接触は5日間だけはできるだけ避けるように。また、部活においても、接触を避けるよう練習内容の検討を要請
- 県内【特別警戒】に引き上げにより、「買い物」「県内外の遠征」などは自粛。公式戦以外の校外活動は不可
- 9月以降のワクチン接種希望者スケジュール組みを開始
- 大学のオーブンキャンパス参加は許可するが、最短スケジュールであることを教頭及び校長で確認
- 各部署から、再度感染防止対策を作成することを決定。（感染拡大の為、受け入れ時の体制、守衛での通門確認、部屋の配置等）

8/24

- 感染対策案に新学期からの案を追加…消毒場所の増設
- 陽性者が自宅療養の場合⇒大志寮を陽性者 西寮を濃厚接触者 川薪寮を留学生の隔離フロアとして利用する
- 練習試合、合同練習は中止。公式戦も主催側に確認をとって、実施の場合は感染対策行動表を提出しての参加を指示
- 県立学校も1時間程度の練習となっているので、本校のクラブ活動時間短縮の可能性あり

9/1

- 9/15までは十分な警戒感で臨むよう指示
- オーキャンの延期・中止はせず、撤退した感染対策を講じて開催
- 消毒スプレーの増設完了。竜の図書室にも追加を決定
- 練習試合、買い物等中止を継続
- 各クラブに感染対策案提出を指示
- 免疫が低下しないよう、運動強度は各クラブで定説に定めるものとし、土日の下校便については、寮に滞在する時間を考慮し、通学バスの運行を13時と16時半の1日2便で対応

9/8

- より一層の感染防止対策として、教室内の机のレイアウト（前後ずらす、机と机の距離を最大限離す）等、取れる対策を取るよう要請

9/15

- 週に1名の頻度で発熱生徒あり。校医へ受診し、全て風邪と診断
- 隔離中の生徒は川薪寮、13寮に1名ずつ ⇒ 経過良好
- ワクチン接種の9月分は終了し、10/12には2回目接種がすべて終了予定
- まん防は解除になったが、県の措置が9/26までは継続となっている為、遠征・外出は中止を継続

9/22

- 9月接種 9/21で1回目無事終了。2回目は9/27より開始予定。
- 県のステージが【特別警戒】のままにつき、9/26までは今の体制を継続
- 海外から日本への入国緩和の情報あり。急に事態が動くこともふまえ、各部署、入寮について、受け入れなど準備を進めておくよう要請（100名規模で入寮予定）

9/29

- 県の感染状況ステージは【警戒】
- 女子寮1名発熱による隔離生徒あり～10/1
- ワクチン接種10/12で終了 2回目の副反応強い生徒多し
- 制限緩和の報道もあるが、本学の感染防止対策は継続を要請
- 【警戒】ステージに引き下がったので、県内の練習試合は許可
- 買い物や外出も段階的な対応とし、人の多い高知市内はしばらく禁止
- 保護者の来訪、外出もまだしばらく自粛。（特別な事例は許可を取る）
- 10月生に対し、ZOOM授業を10月中旬より配信決定（初級・中級の2クラス）

10/6

- 発熱生徒4名隔離…経過良好
- マスク着用、手指消毒の徹底を継続要請
- 中間考査明けから、四国内の日帰り遠征を許可（宿泊は禁止）
- 買い物外出においても中間考査明けより高知市内も許可する。但し、午前、午後などの半日程度とし、会食は行わない。
- 外食、捕食は中止を継続する
- 保護者の面会・来訪については、遠征ガイドラインと同じく中間考査明けの10/23（土）から許可
- 週末帰省と保護者との外出については、中止を継続

10/13

- 県の感染状況ステージは【警戒】から【注意】に引き下げ（10/11）
- 繼続した感染対策を要請
- 校内ワクチン接種無事終了。今後は医療機関での接種となる
- 感染防止対策の緩和として、朝礼を寮生の人数を1/3にわけ実施開始

10/20

- 県の感染状況ステージは【注意】から【警戒】へ引き上げ（10/18）
- 10/19現在、発熱隔離ゼロ
- 気温の変化による乾燥に注意するよう要請
- 今後もマスク着用、手指消毒、予防の徹底を要請
- 県内遠征可。県外日帰り遠征可
- 保護者の面会については、抗原検査のお願いをする旨を学校HPにて案内

10/27

- 県の感染状況ステージは【警戒】から【注意】へ引き下げ（10/26）
- 発熱隔離生徒はなし。健康状態良好。但し、対策は継続の指示
- 現在の制限【会食禁止、買い物半日、四国内は日帰りのみ許可】を継続
- 入国可となった場合を想定して、受け入れ日数が複数日になることを避け、シミュレーションを行う

11/4

- 発熱生徒1名 1週間の隔離中。寒暖差のせいか、のど熱の生徒あり
- 各教室への加湿器の設置と稼働を指示
- 11/24、25から順次入国調整の計画開始（4月生、10月生ともに案内を開始）
- 冬休みに帰国できない生徒に対し、初詣、買い物など計画

11/10

- 県の感染状況ステージは【注意】から【感染観察】に引き下げ（11/8）
- 対応は継続を要請
- 学内5名 37.5度以上の生徒あり。現在隔離中。

⇒ 学内の規定で2週間から1週間に緩和したが、文科省の指導に従いこの期間も短縮される可能性あり。しかし、陰性後、陽性に反転するケースもあるので、現段階では、37.5度以上出た場合、学校の対応として、1週間の隔離を徹底。但し、勉学に遅れが生じないよう、宿題・課題等の学習サポートをする。

- 会食の要望が増えてきたが、大人数での会食はまだしばらく禁止とする

11/17

- 県の感染状況ステージは【感染観察】を継続
- 先週より出停の生徒は減少。現在3名が隔離中
- 11/16 インフルエンザワクチン第一グループ接種実施
- 対策の緩和に合わせて、週末帰省、特別外出・外泊について、今後の対応の協議を要請

11/24

- 出席停止（隔離中）の生徒1名（咳症状）
- 対策のガイドラインに変更なし。冬の計画についても現在の対策を維持継続。（四国内日帰りが原則。特別な理由がある場合は要相談）
- 新入留学生の1/26入国に向けて、準備開始

# 〇〇年前…この先生方 分かりますか？

お宝写真を  
大公開！



とにかく優しい。  
生徒の破れた服を  
縫って修理して  
くれます。



今でも若く見えるけど、  
当時はめちゃくちゃ  
若かった。



お母さんのように  
厳しく、そして優  
しくて優しかった。  
以前は剣道部の存  
在。



いつも面白い話  
を与えてくれて、  
みんな元気になります。

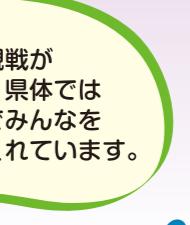


元気いっぱいの  
この先生、はっきり  
分かりやすく  
話してくれます。

6年生は受験の面接練習で、一度はお世話になっているのではないでしょうか。



スポーツ観戦が  
大好きで、県体では  
大きな声でみんなを  
応援してくれています。



よく笑う」「優しい」  
「話好き」、明徳になくては  
ならない教頭先生。



# 創立50周年記念事業へのご寄付のお願い

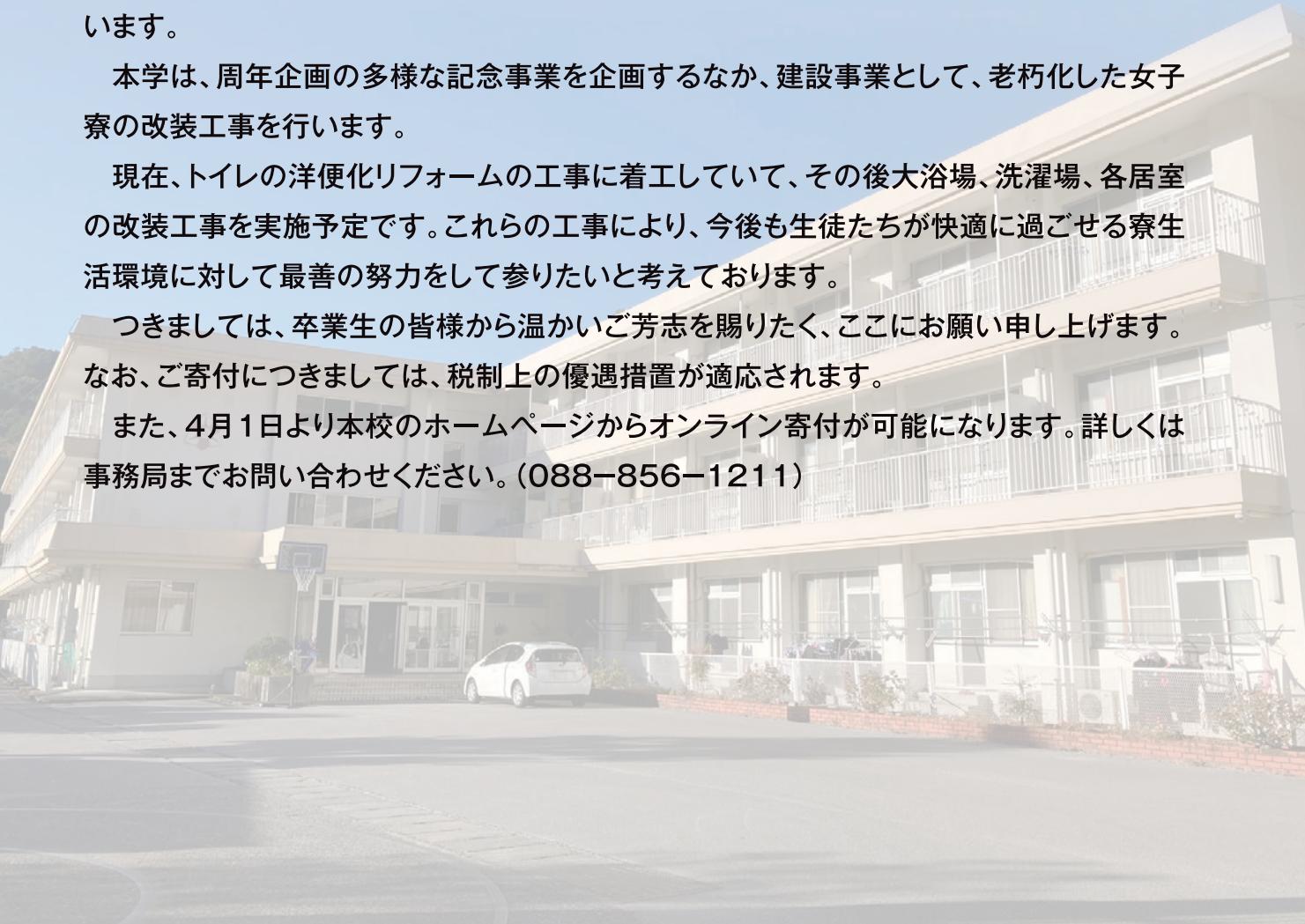
1973(昭和48)年、明徳中学校を開校致しました本学は、2023年4月に、創立50周年を迎えることになります。これもひとえに開校以来、明徳教育の理念に賛同し、ご協力ご支援を賜りました皆様方のお陰だと深く感謝いたしております。私たちは、明徳義塾を支えてくださった万物への感謝を忘れることなく、未来に向けてのさらなる発展を決意しています。

本学は、周年企画の多様な記念事業を企画するなか、建設事業として、老朽化した女子寮の改修工事を行います。

現在、トイレの洋便化リフォームの工事に着工していて、その後大浴場、洗濯場、各居室の改修工事を実施予定です。これらの工事により、今後も生徒たちが快適に過ごせる寮生活環境に対して最善の努力をして参りたいと考えております。

つきましては、卒業生の皆様から温かいご芳志を賜りたく、ここにお願い申し上げます。なお、ご寄付につきましては、税制上の優遇措置が適応されます。

また、4月1日より本校のホームページからオンライン寄付が可能になります。詳しくは事務局までお問い合わせください。(088-856-1211)



## ●その他の進行中の記念事業

### 50周年記念誌の出版

本学は、50周年企画として、作家である森彰英先生に50周年誌の執筆をお願いいたしました。森先生は、本校の創立10周年、20周年の際に周年記念誌を手掛けて頂きました。今回30年ぶりのお願いに快くお引き受けいただきました。2021年10月より、全国各地で活躍される卒業生を取材し、11月には本校まで来ていただき、高知県に在住する卒業生また教職員、さらにはオンラインによる取材で海外にいる卒業生ともやり取りをしました。目下執筆中であります。「50年の明徳義塾」の本が出来上がるのが楽しみです。